

CAMP（Council for Academia-MICE Partnership）～ 学術会議の誘致・開催を支援する都市連携ネットワーク～

CAMP参画都市は、豊富な開催実績と充実したMICE環境を有する都市で構成されています。各都市によるきめ細やかな支援に加え、都市間連携により会場、宿泊施設、助成制度等の情報を総合的に提供し、主催者の皆様の開催地選定をサポートします。開催地選びは、学会運営を支える大切な要素です。学術会議への支援に積極的な都市で開催することで、主催者の皆様の負担軽減と、参加者満足度の向上、さらには参加者の拡大にもつながります。まずは、CAMPの中から開催地を探してみてください。

項目	開催実績・予定	都市インフラ	助成金（上限）	都市の強み	資料/問合せ先	QRコード
岐阜市	2023年：Shintering 2023（焼結に関する国際会議2023）（240名規模）	会 場：長良川国際会議場 約1,900名規模のメインホール、造形的にユニークでホテルに隣接	最大530万円 ※コンベンション 開催事業助成金 （外国人特別加算） +岐阜県大型コンベン ション補助金 +その他補助金の合算	①織田信長公の「楽市楽座」の政策により、人・モノ・情報が集まる交流文化の城下町が誕生 ②全国主要都市からの好アクセス、主要な会議施設と宿泊ホテルが隣接（コンパクトな会議実現） ③4つのコンベンション施設群「世界イベント村ぎふ」は徒歩圏内の大型複合MICE施設エリア ④機能的な都市（市街地エリア）と風光明媚な自然（長良川河畔）が融合した心のオアシス	https://www.gifucvb.or.jp/convention.php	
	2026年：ICPM11/IWPCT10（グローバル医療国際会議/グローバルがん治療国際ワークショップ）（230名規模）	宿 泊：約2,800室（5,700名収容）が長良川河畔及びJR岐阜駅前に集積			岐阜観光コンベンション協会 Mail：info@gifucvb.or.jp TEL：058-266-5588	
	2026年：Heli Japan 2026・12th Asian / Australian Rotorcraft Forum（150名規模）	アクセス：東京から2時間20分、大阪から1時間20分、名古屋から20分				
	2028年：ISLC 2028(半導体データ国際会議2028)（250名規模）	海外動線：中部国際空港へは海外19都市から週253便が就航、空港～名鉄岐阜駅まで約60分				
浜松市	2024年：2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）（3,000名規模）	会 場：アクトシティ浜松 2,000人のホール、13室の会議室を保有、3,000㎡の展示スペース	最大1040万円 ※条件：開催助成金「国際会議」+アトラクション助成金+シャトルバス助成金+事前視察助成金のすべてを活用した場合	①圧倒的なアクセスの良さ（東京・大阪から約90分） ②浜松駅から会場まで徒歩約3分、会場から徒歩圏内に約6,000室の宿泊施設（徒歩圏内で開催が実現） ③モノづくり発展とともに成長した産業都市（浜松ならではの観光を期待） ④浜名湖を有し、自然豊かで温暖な気候（気候に左右されにくく、通年で安定した開催が可能）	https://mice-hamamatsu.jp/	
	2025年：第20回言語処理若手シンポジウム(YANS2025)（650名規模）	宿 泊：浜松駅から徒歩10分圏内に約6,000室の宿泊施設あり			浜松・浜名湖ツーリズムビューロー Mail：k_sugijura@hamacon.net TEL：053-458-0011	
	2026年：コンピュータセキュリティシンポジウム2026（1,000名規模）	アクセス：東京・大阪から新幹線で浜松駅まで約90分、浜松駅からアクトシティ浜松まで徒歩3分				
	2026年：IDW'26（The 33rd International Display Workshops）（2,000名規模）	海外動線：中部国際空港から直通バスで約2時間、富士山静岡空港から公共交通機関で約1時間15分				
姫路市	2024年：SSDM2024（1,000名規模）	会 場：アクリエひめじ(2,000名規模を含むホール3つと4,000㎡無柱展示場、会議室も併設)	最大700万円 ※国際会議で5つの補助金を活用した場合	①アクセスの良さ(東京から新幹線で約3時間、関西主要空港からのアクセスも便利) ②コンパクトな都市構造(会場・ホテル・懇親会場、そして姫路城などの観光地が徒歩圏内) ③姫路ならではの懇親(姫路城を望むレストランや歴史ある酒蔵を舞台にした交流体験) ④安心の開催支援制度(最大700万円の補助や、開催を支えるサポート体制も万全)	https://himeji-kanko.jp/convention/	
	2024年：第68回宇宙科学技術連合講演会（2,500名規模）	宿 泊：約5,000室、約8,000名（中心市街地に集積し、会場徒歩圏での利用が可能）			姫路観光コンベンションビューロー Mail：convention@himeji-kanko.jp TEL：079-222-2310	
	2025年：第54回日本免疫学会学術集会（1,500名規模）	アクセス：東京から新幹線で約3時間（のぞみ直通でアクリエひめじまで徒歩約10分）				
	2026年：ACSIN-16/ICSPM34（1,000名規模予定）決定済	海外動線：関西国際空港から好アクセス（リムジンバスで約2時間）				
熊本市	2023年：第84回応用物理学会秋季学術講演会（6,000名規模）	会 場：3,000人（熊本城ホール単館）～最大10,000人対応（複数会場連携）	最大1,500万円 ※条件：開催地未決定	①熊本城を舞台にした、心に残る学会体験（観光やレセプションで、特別な交流の機会を提供） ②世界が注目する半導体産業の集積地（産学連携・工場視察先に1時間以内で到達） ③くまモンが学会を盛り上げる（高い話題性と参加者満足度の向上に貢献） ④歩いて完結する「ウォークابلMICE」（会場・宿泊・飲食・観光が徒歩15分圏内に集積）	https://kumamoto-icb.or.jp/convention/	
	2025年：ISPSD2025（1,000名規模）	宿 泊：10,000室以上（会場から徒歩圏内の中心市街地に集積）			熊本国際観光コンベンション協会 Mail：mice@kumamoto-icb.or.jp TEL：096-359-1788	
	2026年：Compound Semiconductor Week 2026(CSW2026)（600名規模）	アクセス：空港からバス40分／空路（東京2時間）／新幹線（博多40分・新大阪3時間）				
	2029年：ISTS（宇宙技術および科学の国際シンポジウム）2029他（1,800名規模）	海外動線：アジア主要都市から直行・乗継でアクセス可能（福岡空港経由）				
新潟市	2024年：2024年第85回応用物理学会秋季学術講演会（6,000名規模）	会 場：朱鷺メッセ（最大10,000人、展示場・大小13の会議室、ホテルが一体の複合施設）	最大1,200万円 （県・市併用の場合） ※条件：詳細はお問い合わせください。	①豊富な開催実績と補助金制度など充実の支援・サポート体制（チーム新潟でおもてなし） ②会議・パーティー・宿泊など一連の流れを一つの施設でスムーズに実現（朱鷺メッセ） ③自慢の食と日本一の地酒、古町芸妓等アトラクションで新潟ならではのレセプションを演出 ④「みなとまち・豪農・豪商」の歴史を活用した観光・文化体験(北方文化博物館、みなとびあ)	https://www.nvcb.or.jp/ncn/index.html	
	2024年：The 16th International Conference on Applied Energy（420名規模）	宿 泊：約11,000人収容（市内に40以上の宿泊施設、総客室数：約7,500室）			新潟観光コンベンション協会 Mail：mail@nvcb.or.jp TEL：025-223-8181	
	2026年：2026JCI ASPAC新潟大会（8,000名規模）	アクセス：新幹線（東京最短89分）、航空路線（札幌、名古屋、大阪、神戸、福岡、沖縄）				
	2027年：第11回表面科学に関する国際シンポジウム（ISSS-11）（600名規模）	海外動線：ソウル（仁川）・台北（桃園）を経由して世界から新潟空港へ				
沖縄県	2025年：IcAUMS2025（600名規模）	会 場：沖縄コンベンションセンター（4,000名）はじめ、県内には様々な規模の会場多数あり	国際会議 最大1000万円 国内会議 最大500万円 ※条件：開催地未決定	①アジアと繋がるビジネス交流拠点/直行便4時間以内に日本・アジア約20億人へアクセス可能 ②先端医療・健康・バイオ・再生可能エネルギーなど亜熱帯・海洋島嶼型先端研究が集積 ③融合の文化と歴史、寛容な土地とヒトのもと、様々なニーズに合う会場を多数有する ④沖縄で開催いただいた主催者様から「沖縄開催」で参加者20％～50％増のお声多数！	https://mice.okinawastory.jp/support/convention-subvention/	
	2026年：MTSA2026（120名規模）	宿 泊：那覇市（23,000室）を筆頭に県内にはビジネスからリゾートまで総計65,000室以上			沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所 Mail：okitokyo@ocvb.or.jp TEL：03-5220-5311	
	2027年：ZMPC2027（700名規模）	アクセス：那覇空港へは羽田空港から1日35往復（約2時間半）、全国27都市（29路線）就航				
	2027年：マイクロ・ナノテクノロジー国際会議（MNC2027）（600名規模）	海外動線：那覇へ（週）韓国60便、中国(香港含)43便、台湾147便、東南アジア各国から26便就航中				
高松市	2025年：IWGGMS-21（200名規模）	会 場：最大10,000人（あなぶきアリーナ香川 単館）～最大10,000人数千人対応（複数会場連携）	国際会議 最大1000万円 国内会議 最大500万円 ※条件：詳細はお問い合わせください。	①コンベンション関連施設が「サンポート高松」エリアに集積（JR高松駅から徒歩1分～4分） ②利便性高く整備されたアクセス環境（JR高松駅、バスターミナル、フェリー乗り場が隣接） ③瀬戸内海の絶景をのぞむコンベンション環境（隣接する高松港から各島々へアクセス可能） ④学会・大会開催を充実したワンストップサービスでサポート	https://takamatsu.or.jp/subsidy/	
	2027年：第47回医療情報学連合大会（4,000名規模）	宿 泊：4,400室、約7,200人（中心市街地に集積／会場から徒歩圏での利用が可能）			高松観光コンベンション・ビューロー Mail：convention@takamatsu.or.jp TEL：087-822-7060	
	2027年：ICICIC2027（250名規模）	アクセス：空港からバス30分／空路（東京1時間20分）／新幹線（東京4.5時間・新大阪2時間）				
	2028年：ROBOMECH2028（3,000名規模）	海外動線：アジア主要都市からの直行便が充実／乗継でアクセス可能（羽田空港経由）				
宇都宮市	2025年：MOC2025（200名規模）	会 場：3,000人（ライトキューブ宇都宮単館）～最大5,000人対応（複数会場連携）	最大500万円 ※国外県外参加者50人以上 対象経費の1/3	①東京から最短48分・JR宇都宮駅直結のMICE施設（利便性抜群） ②光学・自動車・航空宇宙の産業集積（産学連携） ③餃子・カクテル・ジャズ 食・文化の都市（来訪促進・参加者満足度向上） ④再生可能エネルギーで走るLRT（地域共生・地域経済循環・脱炭素の3つの社会）	https://utsunomiya-convention.jp/	
	2025年：レーザー学会学術講演会第47回年次大会（700名規模）	宿 泊：10,000室以上（JR宇都宮駅・東武宇都宮駅に集積／駅近にホテル多数）			宇都宮観光コンベンション協会 Mail：info@utsunomiya-convention.jp TEL：028-612-3905	
	2027年：LPM2027 第28回レーザ精密微細加工国際シンポジウム（300名規模）	アクセス：東北新幹線（東京駅から最短48分）/成田空港からバス3時間				
	2027年：IWUMD（ウルトラワイドギャップ半導体国際ワークショップ）（500名規模）	海外動線：成田空港・羽田空港からのアクセス（リムジンバス有、東京経由）				